

## 5 環境学習の推進

### 1 住民アンケート集計表

- 1 調査の目的 21'いいだ環境プランに掲げた目標値の管理のために、毎年実施する調査
- 2 調査期間 平成22年2月
- 3 調査対象 飯田市民1,000人(15歳以上、無作為抽出)
- 4 調査方法 郵送法、回答は同封の返信用はがき
- 5 調査項目 (1)アメニティ目標  
(2)エコライフ目標

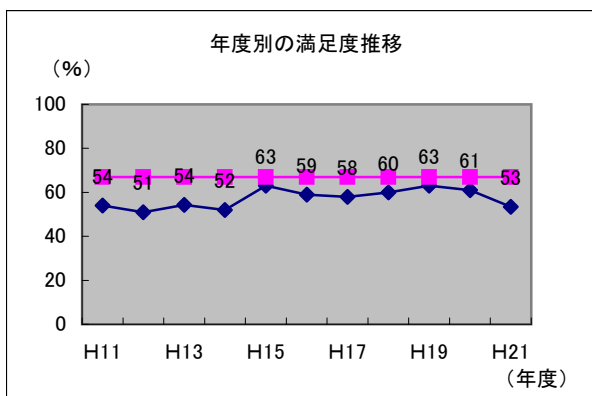
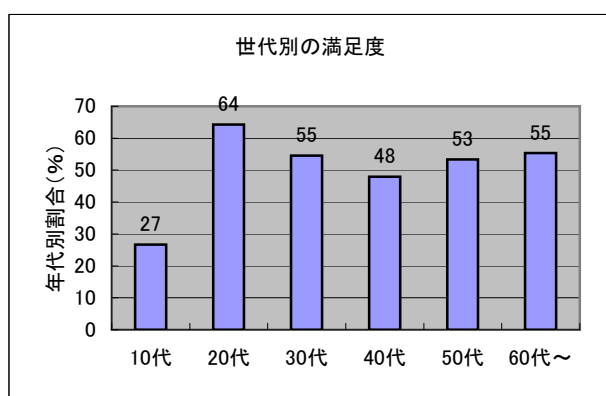
#### (1) アメニティ目標

目標値：平成23年度において市民アンケートにおける「満足・やや満足」の割合を2/3(67%)以上とする。

(単位：%)

	満足度 (満足+やや満足)	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答	計
10代	27	20	7	27	20	27	0	100
20代	64	32	32	14	14	7	0	100
30代	55	23	32	25	14	7	0	100
40代	48	25	23	15	21	15	2	100
50代	53	28	25	20	13	12	1	100
60代～	55	24	31	11	20	9	5	100

	満足度 (満足+やや満足)	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答	計
H10	53	22	31	14	20	12	1	100
H11	54	24	30	17	18	10	1	100
H12	51	22	29	17	19	11	2	100
H13	55	24	31	17	18	10	0	100
H14	52	21	31	18	19	11	0	100
H15	63	23	40	12	15	9	1	100
H16	59	25	34	12	16	12	1	100
H17	59	23	35	13	18	9	2	100
H18	60	23	37	13	18	9	0	100
H19	63	24	39	13	16	8	0	100
H20	61	25	36	12	18	7	2	100
H21	53	25	28	15	18	10	3	100



#### 【不満足の原因】

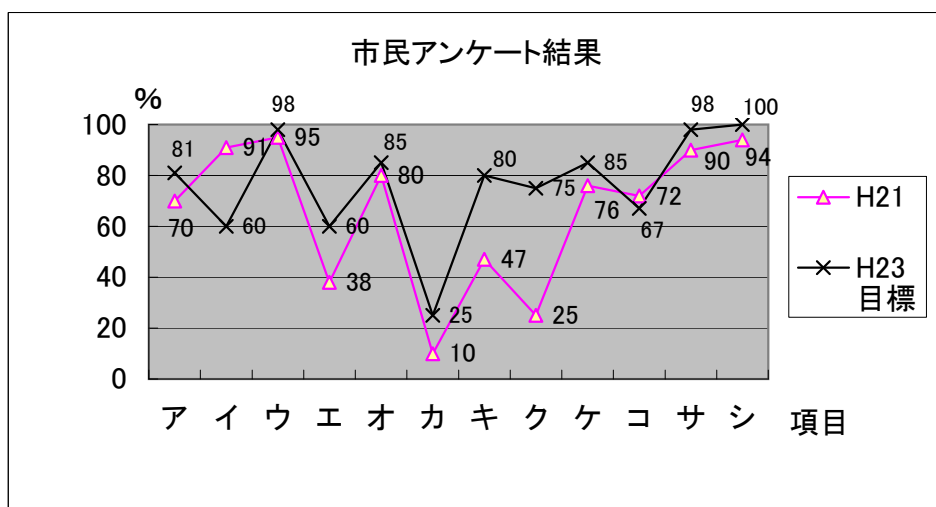
- ・道路が狭い、外灯が少ない。
- ・ゴミにおけるマナーが悪い。ゴミを自家消却しているところも。家畜等の糞尿が臭う。
- ・集積所が遠い。
- ・公共交通機関が不便。
- ・広い道路に面しており、大型車による廃棄ガスの悪臭・騒音に悩まされる。
- ・河川・里山への不法投棄がある。
- ・商店が少ない。

(2) エコライフ目標

(目標年度は平成23年度)

「必ず実行している」・「だいたい実行している」とアンケートで答えた市民の割合 (%)

項目	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H23 目標
ア ごみを減らす工夫をしている	61	62	70	72	70	72	69	70	74	71	74	70	81
イ 買い物時に買い物袋を持参する	25	27	33	39	36	47	47	44	51	62	86	91	60
ウ ごみの分別はきちんとやっている	90	92	93	96	93	96	89	87	95	94	94	95	98
エ 環境に配慮した商品を買うようにしている	30	29	33	34	34	37	35	29	27	37	35	38	60
オ テレビや電灯はつけっぱなしにしないようにしている	82	78	81	75	79	82	76	76	82	81	84	80	85
カ マイカーは使わずバス、電車などを利用している	14	14	12	11	10	11	10	10	9	12	14	10	25
キ 環境に配慮した生活を積極的にしている				47	46	52	48	45	46	46	48	47	80
ク なるべく自然とふれあうようにしている	39	30	28	31	30	37	29	30	33	32	32	25	75
ケ 水を大切に使うようにしている	80	78	73	74	75	81	73	70	79	76	77	76	85
コ 地域の良い景観づくりに協力している	53	48	44	48	51	50	47	50	55	51	71	72	67
サ 油を流しに流さないようにしている	91	91	89	93	88	92	84	82	93	92	89	90	98
シ ビニールやプラスチックを燃やさないようにしている	72	86	85	97	96	95	87	86	95	95	93	94	100



【H21実行していないと回答した理由】

- ・公共交通が不便なため、車を利用する。車は目的地まで時間を気にせず行けるし、物もたくさん運べる。
- ・時間や金銭に余裕が無く、自然とふれあうことができない。
- ・エコ商品は品数が少なくわかりにくい。また、高価なイメージがある。

## 2 第5期環境アドバイザー(任期:平成20年度から平成21年度まで)

氏名	ふりがな	環境プログラム一覧
市瀬 彰一	いちのせ しょういち	○ 生ごみの有機肥料化リサイクルについて学ぶ
今村 良子	いまむら よしこ	○ グリーンコンシューマー活動から温暖化防止を考える
木下 進	きのした しん	○ 自然観察会 ○ 伊那谷の動植物の変化について ○ 動植物調査
小池 晴人	こいけ はると	○ 温暖化防止と資源枯渇を救う新エネルギー ○ 廃棄物削減 ○ 地球温暖化のメカニズムと防止策
代田 久郎	しろた ひさお	○ 京都議定書のその後の経過について
西澤 洌	にしざわ きよし	○ 天然資源の活用について学ぶ
福島 紀雄	ふくしま のりお	○ 地域材を使った省エネ住宅 ○ 森林に親しむくらしの学習
松澤 肇	まつざわ はじめ	○ ごみ削減と分別リサイクルについて(講演・実習) ○ 廃棄物・リサイクルの現状と課題 ○ 地球温暖化の現状と防止への取り組み ○ 地球温暖化ってな～に? ○ 最近の地球環境の問題と課題とは何か ○ 企業・事業所の環境配慮経営の提案 ○ 地球環境保全と生活者・事業所の配慮 ○ 地域から環境づくりを考える ○ 住民協定から地域づくりを考える
元島 亮夫	もとじま あきお	○ 環境カルテ(水と生活、河川水質調査) ○ 水の循環・酸性雨と大地(実習と講義) ○ 地球温暖化防止は緊急課題(講演) ○ 酸性雨のお話、酸性雨と大地 ○ 太陽電池の性質と利用、太陽電池の性質と環境経済 ○ エネルギー消費と地球環境問題 ○ 自然エネルギーの活用(太陽・水力) ○ 太陽エネルギーを体験しよう(体験教室) ○ 地球温暖化とエネルギー資源のお話 ○ 身近な省エネルギーの考え方(一般分野・電力分野) ○ 新エネルギー省エネルギーのお話 ○ 身近なもので電気を作って遊ぼう ○ 簡単な河川の水質の調査(体験学習) ○ 水の循環と環境問題(含炭素の循環) ○ 地球と人間-環境問題 ○ 雨水活用のすすめ
森下たまき	もりした たまき	○ ごみの分別から地球温暖化問題まで

### 21年度 活動実績

環境アドバイザーは、各自が地域内外から依頼を受け、地域において講師となって活躍しました。

	派遣件数	聴講者数	その他、下記のような活動を行いました。
個人プログラムに基づく派遣	35	1541	・アドバイザー自主研修会 4回開催
環境産業公園見学・視察案内	49	1663	・アドバイザー連絡会 5回開催
グリーンバレー千代見学・視察案内	40	1031	・生活と環境まつりに出展(10月24、25日)
計	124	4235	・第5次基本構想基本計画検討委員選出 ・飯田市環境配慮型製品「ぐりいいんだ」認定審査員選出